

## 経営事例

### 土質を生かしスイカ作りに成功している酪農家

### 福屋牧場を訪ねる

#### 経営の概要

北海道恵庭町の福屋さんは全国的に有名な酪農家として知られ、現在の所で酪農を始められてから三十年、その間、常に「酪農の原道」である土地作り、草作り、牛作りに徹して来られました。ご承知のようにこの地帯は樽前系の粒子の細かい火山灰土壌で、始めは土地が瘠せていたために大変苦労されたそうですが、輪作体系の確立と厩肥、畜尿の合理的な還元によって、今日では見違える程地力もついて、一七分の耕地に三〇頭以上の乳牛と小家畜を飼育されています。

福屋さんの作付内容は、第二表に示すように放牧地を多くとり入れ、家畜ビートを最少限に止め、エンシシレージはデントコーンよりグラスサイレージに重点をおいて、普通作物はエンバクを新播牧草地の保護作物として作っているにすぎなく、もちろんエンバクも飼料としております。このように作付の単純化が合理的な輪作体系に結び付き、ヘーレージハーベスター(乾草調整機)のような機械の導入も進んで模範的な酪農の経営が行なわれていると言えましょう。

#### スイカ栽培をとりいれたのは

さて、福屋さんはこの改良された土地を生かして、四年前からスイカ栽培を始めたおりますが、酪農専業家でありながら、何故スイカのような販売蔬菜を取り入れられたかと申しますと、先に述べたように作付の単純化と機械力を導入した合理的な経

営に依って、春の蒔き付け時期、夏の乾草作り(グラスサイレージ含む)あるいは根菜収穫貯蔵(エンシシレージ含む)の時期を除いて比較的労働力に余裕が出来たが、以前は原料用ビートを作つておられるということです。以前は原料用ビートを作つておられたが、ビートよりもスイカの方が収益高く、ぶ土地改良で極めて地味が肥えて來ていることから、甘味の強い立派なスイカが出来しみの多い果菜あるいは果樹を取り入れ、毎日の生活に「作る楽しみ」と「食べる楽しみ」を与えると同時に、比較的単位当たりの収益の高い作物としてスイカを選んだということです。スイカは他の果菜に比べて、栽培、管理、収穫、出荷の点に於いて比較的労力がかからないことと、土質が極めてスイカの生育に適しているからです。土質は火山灰土壌なので水掛けが良く、昼夜の地温隔差が多い上に、過去三十年に及

第1表 輪作体系表

年次	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年		
畠番	区	区	区	区	区	区	区	区	畠番	
1	燕麦青刈混牧	牧草牧草	牧草牧草	牧草牧草	デントコーン	ビート	デントコーン	放牧放牧	6年	
2	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	5年	
3	牧草	草	草	草	ビート	ビート	ビート	放牧放牧	4年	
4	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	3年	
5	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	2年	
6	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	1年	
7	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	年	
8	牧草	草	草	草	トントン	トントン	トントン	放牧放牧	年	
					デントコーン放牧放牧放牧放牧放牧放牧	放牧放牧放牧放牧放牧放牧	放牧放牧放牧放牧放牧放牧	放牧放牧放牧放牧放牧放牧	畠番	
					6区	5区	4区	3区	2区	1区

第2表 作付内容

作物名	面積	10%当り収量		総収量	10%当り見積価格		生産物用途
		アマ	トウ		円	円	
燕(牧草混播)	120	4.0	48.0	8,000	50,000	96,000	販売
菜	50	—	—	50,000	—	200,000	—
デントコーン	400	4.0	160.0	8,000	—	320,000	—
家畜ビート	80	8.0	64.0	16,000	—	128,000	—
牧草	150	4.0	60.0	8,000	—	120,000	—
生乾放	480	1.3	62.4	9,100	—	436,800	—
計	420	4.0	168.0	4,800	—	201,600	—
	1,700	—	—	—	50,000	1,302,400	200,000

第3表 福屋さんの経営概況

家 族	経 営 地	畑 の 内 訳	家 畜	建 物
男 人 3	宅 地 0.7	食糧畑 0.3	頭 牛 17	坪 32
女 2	烟 12.8	飼料畑 16.4	搾乳牛 98	住 宅 98
自家労力 2	放牧地 4.2	販売畑 0.3	育成牛 10	畜 舎 32
実習生 3	山 林 2.3		仔牛(予定) 13	倉 庫 12
			馬 1	堆肥場 21
			羊 3	サイロ 3
			鶏 羽 30	尿 溜 1
		計 20.0		

福屋さんのスイカ栽培の方法は育苗移植法をとり入れておりますが、接木は行なつておりません。手稲町の山口村や、その他の主産地では土地の関係から連作されることが多い、病虫害の多発、早期出荷をねらうドンネル栽培等によつて接木によらないと予期の収量をあげられなくなり、品質の向上のため多くの有機質肥料(油粕、魚粕)の施用が常識になつております。しかし福屋さんは広い土地を生かした輪作によつて、いまのところ接木をしなくとも特に病害の心配がなく、接木同様の草勢の維持が出来ているということです。

### 福屋さんのスイカ栽培の概要を紹介いたします

福屋さんは広い土地を生かした輪作によつて、いまのところ接木をしなくとも特に病害の心配がなく、接木同様の草勢の維持が出来ているということです。

福屋さんのスイカ栽培の方法は育苗移植法をとり入れておりますが、接木は行なつております。手稲町の山口村や、その他の主産地では土地の関係から連作されることが多い、病虫害の多発、早期出荷をねらうドンネル栽培等によつて接木によらないと予期の収量をあげられなくなり、品質の向上のため多くの有機質肥料(油粕、魚粕)の施用が常識になつております。しかし福屋さんは広い土地を生かした輪作によつて、いまのところ接木をしなくとも特に病害の心配がなく、接木同様の草勢の維持が出来ているということです。

- 1 品種 新三笠 中生種で味も良く、比較的病害に強いので作り易く、収量も挙るので数年来本種をとりあげています。

- 2 播種 四月四日 卵のケースに二~三粒ずつ播き、発芽後早めに一本にして、スネの伸びるのを抑え健苗を作られておりります。

- 3 移植 (温床) ウスカワの三寸鉢を利用して早めに移植。

- 4 定植 五月十六日 紙テント被覆。

- 5 畦幅 四尺、株間〇・九尺。

- 6 施肥量 (一〇kg当り)

堆肥肥 二、〇〇〇kg

硫 安 一〇kg

尿 素 一〇kg

過 石 二〇kg

熔 磷 二〇kg

硫 加 一五kg

硝 安 一〇kg

K P 一〇kg

八kg

七・五kg

成分量

N 一〇kg

P 八kg

K 七・五kg

どうかわかるので、五日おきに細い竹の棒の先を赤、黄、青色等で色分けして果のそばにたてておいて、収穫の目安としてあります。しかしそれだけでは不充分なので、打診とか、蔓の状態、土の接着部の色なども考慮しているということです。

スイカの出荷は地元の恵庭、千歳が主で、特に定期的に出荷されはおられないようです。当初、自家用主体という考え方から出発したけれども質が良く、評判が良いので庭先に業者が来るということです。

### おわりに

専業農家と異なり酪農が主体なので、整枝等の周到な管理迄手が廻りかねるとのことでしたが、栽培のツボはしっかりとつかんでおられるから、生育の状態は大変良く、一株平均三~四個は結果しておりました。

- 8 収穫出荷 本年の初出荷は八月五日。結果を良くするために入工助をしてまつて、堆肥、化学肥料を施し、プラオで上をかける方法に依っております。元肥は定植時の二週間前に例年施しておいて、苗の肥当たりを防いでおります。

- 7 薬剤散布 十日間にダイセンを散布

- 結果を良くするために入工助をしてまつて、堆肥、化学肥料を施し、プラオで上をかける方法に依っております。元肥は定植時の二週間前に例年施しておいて、苗の肥当たりを防いでおります。



スイカ畑と息子さん

普通主枝と小蔓の三本仕立とし蔓を同一方向に摘え、この三本以外の子蔓、孫蔓を除き、大体一番成は変形、空洞が出来易いので摘果して二番成りを着果させる方法が行なわれております。密植と早出しをねらった整枝法で一株三果を収穫して一〇kg当たり四、〇〇〇kgが最高のようです。福屋さんでは例年四、〇〇〇kgの収穫はむずかしく、質も劣るということなので、肥料とか、堆肥の多施による地力の点は勿論、栽培、管理に対する熱心な研究のたまとの敬服した次第です。

なお、昨年は八〇kgほど栽培されましたが、ちょっと労力の面で無理だったでので、今年は気象の長期予報も併せ考えて二〇kgに減らされたそうです。現在福屋さんは公職に忙しく、経営の実際面を息子さんにまかせられておられるそうですが、実益とのしみを兼ねたスイカ栽培を直接手がけられて、更に余力があれば面積を増すことと共にメロン栽培もされたいという意欲ももつておられるようです。

新しい方向を示された日本の農業の中で最も成長部門といわれる酪農の基礎を立派に築かれた上に、機械化に依る余力と、土質、地力、市場を考慮してスイカを取り上げ、単調な作業、生活に楽しみと実益を得るという福屋さんのお考えは、これから日本農業の進路を明示されたように感じられました。(上野幌育種場 津田睦雄)